

標 題 : Comparison of Dietary Antioxidant Profiles of 21 a priori Defined Mediterranean Diet Indexes.

21 件の先験的に定義された地中海食事指数の食事性抗酸化物質プロファイルの比較

著 者 : A. Hernández-Ruiz, et al. (要旨に著者情報なし)

掲 載 誌 : J. Acad. Nutr. Diet. 2018 Dec; 118(12): 2254–2268.e8

要 旨 :

背 景 : 地中海食事は、かなりの量の抗酸化物が豊富な食品を特徴とする食事パターンである。

異なる地中海食事指数によって反映される食事性抗酸化物質摂取の水準の違いは、研究上の注目をわずかしか受けてなかった。

目 的 : この研究の目的は、地中海食事への順守の 21 件の先験的に定義された指数の食事性抗酸化物質プロファイルを比較することであった。

計 画 : 横断的研究。

参加者/設定 : 2 件の「がんと栄養に関するスペイン・ヨーロッパ追跡研究」コホートに属する 1992 年と 1996 年の間に募集された合計 14,756 人の年齢 32 から 69 歳の参加者を収録した。

主な結果測定 : 認証済の食事歴アンケートを通して、参加者は食事に関する情報を提出した。

抗酸化物質 (ビタミン C、 β -カロテンおよび α -トコフェロール)、総抗酸化能力、総トコフェロール、フラボノイド、およびポリフェノール抗酸化物質含量スコアを、さまざまな食品組成データベースを用いて推計した。

21 件の地中海食事指数を運用可能とした。

統計的解析 : 指数間のスピアマン相関係数を計算して、クラスター群を確認するために階層的クラスター分析を適用した。

重み付けカッパ統計量を推計して、指数間のスコア一致を評価した。

幾何平均摂取量に基づいて、地中海食事指数間の抗酸化物質プロファイルを比較した。

抗酸化物質プロファイルの成分を伴う各地中海食事指数間の関連を、線形多変量回帰分析を用いて評価した。

結果： 地中海食事指数間の相関パターンが、指数の約半数はお互いに中程度から弱い相関を示した ($\rho < 0.5$)。

由来した主なクラスター群は、高、中、および低相関の地中海食事指数を示した。

3種類の地中海食事指数(地中海食事パターン 2002、地中海食事による予防、および代替地中海食事指数)が抗酸化ビタミン、総抗酸化能力、総ポリフェノール、フラボノイド、およびポリフェノール抗酸化含量スコアの最も高い平均摂取量を示した。

これらおよび他の指数(主として地中海食事等級群に属する)が食事性抗酸化物質全体の高い摂取値を捉えた。

結論： さまざまな地中海食事指数によって捉えられた食事性抗酸化物質摂取の水準が異なるのは、その構造の差異のためである。

研究結果はまた、ある地中海食事指数が高い抗酸化プロファイルを反映すると示唆している。

キーワード： 抗酸化物質、疫学、食習慣、地中海食事、栄養素

著作権 © 2018 年 Academy of Nutrition and Dietetics (栄養・食品学アカデミー)。
エルゼビア社発行。著作権所有。
